

60 しらかみだけ 白神岳 (1232m) ~ 61 むかいしらかみだけ 向白神岳 (1243m)

地域 白神山地  
2008年3月22日~23日

- [ルート] 登山口⇄マテ山⇄白神岳⇄向白神岳  
[参加者名] CL S.NARITA 他8名  
[コースタイム] (3/22) 駐車場 8:23→登山口 8:31 ~ 8:33→冬道分岐 9:10→マテ山  
11:24 ~ 11:56→森林限界 13:49→マテ山分岐(稜線)14:30→白神岳避難小屋  
14:50  
(3/23) 白神岳避難小屋 6:11→クレバス通過 8:33 → 向白神岳山頂  
9:20~9:26→白神岳避難小屋 13:06~13:49→マテ山分岐(稜線) 14:30→  
マテ山 15:36 ~ 15:47→登山口 17:10

[登山口までのアプローチ、登山口の様子]

フェリー駐車場を朝5時に出発、途中3度のトレタイムを取り、白神岳登山口駅の向かいを左折して林道に入る。雪のため駐車場までは入れないと聞いていたが、雪融けが思った以上に早く、林道に雪はあるものの車の轍の跡があり、雪に腹をこすりながら駐車場まで進む。駐車場に雪は無く登山口まで車で行けそうだがここに車を置き出発。登山口には雪がない。

[山行記録]

登山口から先の道に雪はあるが周りは大分無くなっている。冬道をマテ山へ向かって登る。途中から埋まるのでワカンを付ける。天気は快晴、風も無いので暑い。マテ山で大休止し、先を目指す。荷物が重いのでペースが上がらないが、木々の間から白神岳山頂が見える。森林限界からの急斜面をゆっくりと登る。途中雪が解けて笹が出ているところがありちょっと危険。稜線へ抜け旗竿を雪面に挿す。白神岳山頂には先行のメンバーが見える。稜線へ抜けてから避難小屋までは割りと長く感じた。小屋は屋根の半分ほどしか出ておらず、三階の窓から入る。他に人はおらず我々の貸切となったが、若者がスコップを取りに来た。雪洞を掘るらしい。寒くなってきた外で夕日を楽しみ早めに就寝。翌朝もいい天気だ。朝日を眺めながら身支度をし、ワカンは持たずアイゼン、ピッケルで向白神岳へ出発。シュラフなどの荷物を小屋に置いたので荷物は軽い。最初は雪も固めでアイゼンが効き快適だったが次第に雪が柔らかくなってきてぬかるようになる。気温が高かったせいか雪が最中状態で雪庇も割れが入っていて急斜面では雪が崩れているところある。岩木山のきれいな姿を見ながら雪庇に気を付けながら稜線を進み、ブッシュの中を進んだり、完全に雪庇に割れが入っているところでは一人ずつ進みながら向白神岳に到着。山頂はあまり広くなく、というか全員でいるとほとんど雪庇の上にいるような感じである。標識らしき木の杭がある。記念写真を撮り、安全なところまで戻って大休止とする。行きにはあまり



気がつかなかったが雪庇の張り出しがすごく、雪の崩れも行きよりも大きくなっている。小屋に戻って支度をし、下山開始。予定よりは大幅時間が遅くなっているため、急ぎながらの下山となったが私はどうしてもペースが上がらず遅れる。それでも何とか5時過ぎには登山口に到着。昨日はあった冬道分岐からの登山道の雪がすっかり消えていた。前回、前々回に比べると素晴らしい条件に恵まれた山行でした。

報告 HNAKAMURA

# 62 てんぐだけ 天狗岳 (958m)

地域 白神山地

2008年10月19日

[ルート] 天狗峠⇄天狗岳  
[参加者名] CL M.NARITA 他7名  
[コースタイム] フェリー埠頭 5:00 → アクアビレッジ ANMON 6:35(トイレタイム) → 津軽峠 7:05 → 天狗峠登山口 7:45 ~ 8:00 → 825mピーク 9:15 → 山頂 11:00 ~11:42 → 825mピーク 13:10 → 天狗峠登山口 14:50 → やすらぎの駐車帯 15:10 → 道の駅西目屋 16:20 ~ 16:35 → フェリー埠頭解散 17:55

## [山行記録]

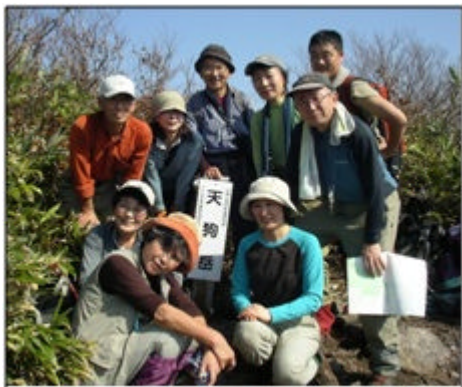
朝から深い霧が立ち込め視界がとても悪かった。いつもの集合場所のフェリー埠頭も気を付けないと見失う程でした。県道岩崎・西目屋・弘前線(旧弘西林道)を通り6:35 アクアビレッジ ANMONに到着、トイレタイムとする。ここから先は舗装されていない林道を走る。6:55 津軽峠に立ち寄り遠くに見える天狗岳や白神岳、向白神岳を案内板で確認した。天気も良く空には太陽と一緒に白い月も姿を見せている。



ガタガタで曲がりくねった林道だが、見事なハンドル操作で予定より1時間以上早い7:45 天狗峠登山口に到着。今回は CL、SL、記録、会計すべて女性陣でやりましょうという事でM.Nさんを先頭に8:00 登山開始。

熊よけのため、それぞれ音色の異なった鈴を鳴らしながら歩く。

紅葉のピークは過ぎていたようだが、ブナ、コシアブラ等まだ十分楽しめる。まるでルビーのように赤く輝くつるりんどうの実もかわいい。天狗岳まで 4.5kmの標識があるところから展望が開け、左後方に岩木山が見えるが、青森市内から見ているいつもの姿とは違う。岩手山に似た形だねと誰か。30分程歩いたところで温度調節をし、カサコソと音をたてる落ち葉を踏みながら再び歩を進める。しばらく行くと左側が絶壁になっていてロープが張られている場所がある。滑落しないように注意しながら進む。ここを通り過ぎたところにツガルミセバヤという珍しい植物が自生している。途中尾根から下を覗き込むと、結構深い谷底が見える場所もある。頂上まであと3kmという標識のある場所に9:05 到着。水分補給のため5分休憩。登山口から頂上まで 0.5km毎に標識が設置されている。山頂まで 1.5km~1kmの間には、つやつやとした葉のイワウチワが群生していた。花の時期尾根一面に咲いていたらさぞ見事なことでしょう。11:00 頂上に到着。眺望が素晴らしい! ブナの原生林に覆われた白神岳や向白神岳がすぐ目の前に見え手が届きそう。今日白神岳に登っている青森労山の人達もいると聞いて思わず「ヤッホー」と呼びかけた気分になった。この時期にしては気温も高く日差しも強い。景色を楽しみながらゆっくりと昼食をとり同じルートを下山する。あと 10分程で登山口に到着かというところで山ぶどうを発見。ひとつ見つけたら



その近くにきっとまだあると Nさんが言ったとおり「あった! あった! ここにもあった!」と声が飛び交う。ザックを投げ出して数人が山ぶどうを収穫した。この暑さで持参した水もすっかり飲み干した後だったので皆でほおばった。疲労回復、足取りも軽く14:45 天狗峠の登山口に到着。車は再び林道を走り途中やすらぎの駐車帯でトイレタイム、アクアビレッジ ANMONを15:15 通過、道の駅西目屋に立ち寄りフェリー埠頭 17:55 で解散とする。何よりお天気に恵まれ、最後に山ブドウのお土産付き。素晴らしい山行でしょう!

報告 M.OOKAWA